

第四一巻第一号（一九八七年七月）

論 文

『共産党宣言』と現代……………井上 周 八

H・C・ケアリー研究序説……………高 橋 和 男

——予備的考察・その一——

国鉄改革にみる計量分析の性格……………菊 地 進

——新会社の要員数算定の問題——

価値概念について（三）……………山 本 二三丸

——その内容と意義——

資 料

イギリス東インド会社の

最終元帳（一八六八～一八七〇）……………茂 木 虎 雄

第四一巻第二号（一九八七年九月）

論 文

イギリスの団体交渉……………内 藤 則 邦

——そのレベルについて——

ヘーゲル、フォイエルバッハ、マルクス……………井上 周 八

「税制改革」の経過と論議……………和 田 八 束

価値概念について（完）……………山 本 二三丸

——その内容と意義——

研究ノート

明治末期の戸田海市と「京都経済学」……………松野尾 裕

——「国民経済」論の比較史的研究のための一試論——

インドにおける開発政策と外国資本（二）……………戸 崎 純